

はい、スカディちゃんご飯ですよー

くさい…何日も何日も私に飽きもせず
私におチ○ポ…いや、**男性器**を奉仕させるとは…
命知らずとは此の事か)



（しかし、この臭いは好かん…と最初は感じていたが
毎回こう奉仕していたら慣れてくるものだな。

むしろ…すんすん♡命の芽吹きに最も近い部分と考えると
愛おしく感じてしまう♡♡



（チンポお♡しやぶりたいたい…♡奉仕したい…♡♡
もっとな近づいてくれねば奉仕ができないではないか♡♡♡

わたしから行けと言うのか？下品なチンポ面を見せつけ
卑猥な音を立ててむしやぶりつく無様な様をみせつけるなど…
出来るわけがない♡♡…出来ぬ♡♡）



あれ、今日はご飯いらないのかな？
そうだよねえ、もうチンポしゃぶりすぎて
フェラ怪人化一步手前まで来てるもんね。

フェラ怪人もどんどん増えてきたし
無理にチンカスをスカダイちゃんに食べさせなくてもいいか。
喜んで食べてくれる他のサーヴァントに食べさせようかな



じゅるっ…



おっ食い付いてきた。
いいのかなあ、それ以上口を伸ばしたらもう戻らないよ？

不細工で下品なチンポをしゃぶるしか出来ない
異形の怪物へ堕ちちやうよ



《私はなにを…♡これではこの男の思うがままではないか。
しかし、今更取り上げられてしまうと…止まらぬ♡♡》

ああ、この世界に此の様なものがあるとは…
チンカスが口の中で溶け
臭いが濛々と充満し脳を溶かしてゆく…♡♡)



(もうチンポの事しか考えられぬよ…♡♡
やはり、しゃぶるべきではなかったと後悔する事も出来ぬくらい
このチンポは神すらも魅了する)

(もっと食べたい…。口を伸ばせば…
もっと奉仕できるのだろうか…♡)



あはははは、無様だね！気持ちわるっ！
奉仕したさに唇伸ばすとかどれだけチンポに必死なんだよ！
吸い過ぎて唇もどんどん腫れぼたっくなってるし！

（ああ…喜んでくれていいのか？私が奉仕することぞ
このオチンポ様が喜んでくれるのならなんでもいい♡♡
ずっとチンカス掃除してオチンポ様を
気持ちよくさせる道具でいい…♡♡）



じゅるじゅばばっぢゅりゅりゅうううっ

（それが私の望む事であると理解できた♡♡
オチンポ様に服従し、チンポ奉仕をする為以外に
何を大切にする必要があらうか♡♡）



(どんなに醜く、堕ちたとしても
それがオチンポ様を気持ちよくさせるのなら、
何でもいいな♡♡♡)

おおっきたきたきた、 ああーヤバイチンポ食われる

本当にたまんねえ…折角の美女台無しにしちやうのに

ついフエラ怪人化させちやうんだよなあ

まあ、この無様な顔も元を思い出すと勃起もんだからいいんだけどね





おんん!



びゅ
びゅ
う
う
う
う

びゅ
びゅ

